



### ありがとうございました

株式会社関口精機様から、新型コロナウイルス感染症対策として、ビニール手袋10,000枚の寄贈がありました。手袋は市内の学童保育所で活用させていただきます。

### ウクライナ支援コンサートが開催

一日でも早く平和が戻ることを願って

5月22日、市民会館でウクライナ支援コンサートが市内の各種団体代表者で組織した実行委員会主催で開催されました。



▲左からクリスティーナさん、デニスさん

た。コンサートでは、市内で活躍する合唱団や歌手が演奏。特別出演としてウクライナ出身でバス歌手のデニス・ビシュニャさんがウクライナの伝統的な民族衣装を身にまといその歌声を披露しました。3月にウクライナから避難してきた姪のクリスティーナ・オクサーニチさんもピアノを演奏しました。フィナーレでは八千代少年少女合唱団とともにウクライナ国歌を演奏し、来場者はその歌声やメロディーに心を打たれました。

### 高校生から病院へプレゼント

八千代東高校が壁面装飾を贈呈

5月10日、県立八千代東高校の生徒が、「季節の壁面装飾」と「患者さんへ励ましの手紙」を手作りし、八千代リハビリテーション病院へ贈呈しました。

入院中の患者さんや病院のスタッフの人たちにとって、少しでも気分転換となり、日々のリハビリに取り組んでもらいたいとの思いから、日ごろからボランティア活動に励むJRC部、図書委員会などの生徒たちが製作しました。病院本館1階ウェルカムホールに掲示されています。



▲放課後や休み時間を使って製作しました

### 自転車教室が開催されました

7月1日(金)から自転車保険への加入が義務化されます

5月17日、萱田小学校で自転車教室が開催されました。市では、毎年市内の各小学校を対象に市の交通指導員が八千代警察署・八千代交通安全協会と協力して、自転車教室を行っています。

児童たちは自転車を発進する際に前と後ろをしっかりと見て安全確認すること、歩道や横断歩道上では歩行者を優先することなどを教わりました。

千葉県では、7月1日(金)から自転車保険への加入が義務化されます。近年では、

1億円近い損害賠償を負う事故も発生しています。被害者を守るため、今一度、加入しているか確認しましょう。



▲自転車のブレーキのかけ方なども教わりました

### ミニ・ガイド

■精神障害者家族 対話と交流の集い 精神障害者の患者を身内に持つ家族を対象に悩みや心配事を話し合う「対話と交流の集い」を開催します。6月23日(木)午後1時30分～4時、プラッツ習志野(習志野市中央公民館)北館音楽室。申し込みは、電話またはファクスで習志野八千代心の健康を守る会 渡邊 ☎047-453-6760へ

■印旛沼観光船による印旛沼観察会 ▶日時 7月21日(木)※荒天時は26日(火) 1回目午前9時集合、2回目午前11時集合、3回目午後1時30分集合 ※各回とも30分前から受付開始。陸上講義45分、乗船時間は30分です。

▶集合場所 佐倉ふるさと広場 ▶定員 各回抽選24人 ▶参加費 100円(保険料込) ▶主催 公益財団法人印旛沼環境基金・印旛沼水質保全協議会 ▶申込方法 往復はがきに、①希望回(第2希望まで)、②参加人数(1枚5名まで)、③参加者全員の氏名・年齢・性別、④〒住所、⑤電話番号を書き、〒285-8533佐倉市宮小路町12番地(公財)印旛沼環境基金へ郵送 ▶締切 7月4日(月)消印有効 ※希望回の記載がない場合や申し込みの重複は無効となります。お問い合わせは、(公財)印旛沼環境基金 ☎043-485-0397へ

### 市民伝言板 /

●紙芝居まつり お話会。6月26日(日)①幼児の部、午後1時～2時・先着親子15組、②小学生～大人の部、午後2時30分～4時・先着40人、福祉センター2階。語りの会やちよ・真鍋 ☎080-6502-4455

●女性の日記から学ぶ会26周年のつどい 当会会員による「家族と日記」(祖父母・父母の日記や育児日記)についての発表と、日記

研究の現状報告を行います。7月9日(出)午後0時30分～4時15分、八千代台東南公共センター5階。片岡 ☎090-6038-6743

●ガキ大将の森のキャンプ 野外炊事や工作など森の中で遊びます。3歳以上の子どもと保護者対象。小学4年生以上は子どものみで参加できます。7月18日(祝)午前10時～午後4時、ガキ大将の森。1人500円。先着30人。申し込みはファクスでガキ大将の森の会・千葉 ☎488-2283または右のコードから



### 八千代歌壇

鶴岡 美代子選

墓石を支えにようやく立ち上がる老いたる娘を許されよ父母 (八千代台西) 吉田 早苗  
赤は朝ブルーは夜と書き留める葉袋に数種の仕分け (八千代台北) 石川 静子  
世の中に電子マネーの出回りを知らぬ子の増えたと (大和田新田) 上野久美子  
四季ごとの風物描きで馴染みいし水墨の筆筒に古びる (大和田新田) 増尾 克子  
ラインにて送られ来たり雪の家懐かしくありせつなくもある (高津団地) 吉井 惇子  
ワクチンの接種を終へし人々は待機場所に安堵の沈黙 (大和田) 井上 正則  
柿の葉の若葉がもえて孫むすめ成人となるその日まじかに (勝田台南) 佐野千恵子  
ふるさとの城跡に桜咲き満ちてシンタ人呼ぶ祭恋しき (勝田台) 石垣 玲子  
選評 一首目、父母の眠る墓石に手をつきながら立ち上る作者が目につかぶ。神聖な墓石を支えにするのは老いたゆえのこと、やむを得ない現実だ。二首目、この作品も老いの現実を歌っている。葉の飲み忘れや飲み違いをしないように色別にして仕分けしている。三首目、まさに現代歌で、お釣りを知らない子どもがいることに驚いている。これは一例で、時代はどんどん変化しているのだろう。五首目、「来たる」「実家(さと)」「懐かしくも」と、それぞれの話を少し直すと更に良い。

### やちよ川柳

八千代川柳連盟選

ランドセル大きく見える春となり 大学町 林 茂一  
三歳児習った祖父に将棋勝ち 緑が丘 高畑 利弘  
マスクして顔半分は秘密基地 緑が丘 山本 武典  
迷いなど愚の骨頂と夕陽落つ 勝田台 小林きらら  
何色に染まるか春の始発駅 勝田台 阿部ふき子  
平和とは何だろう辞書を引く 八千代台東 向井譲り葉  
良い予感当たり退院メール来る 勝田台 梶田きみ子  
パソコンを叩けば届く海の幸 勝田台 渡辺ひとし  
ほめられて自慢料理の腕あげる 大学町 伊藤ばん子  
硝煙と黄砂混じって蔽う空 緑が丘西 加茂 英代  
十冊の母の勲章母子手帳 萱田町 渡邊 昭二

### Twitter



URL <https://twitter.com/yachiyoshi>

八千代市ツイッター 防災情報・緊急情報などを発信しています